

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ケセラキッズ		
○保護者評価実施期間	令和7年12月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、幼稚園教諭、学校教員など定型発達を熟知したスタッフが子どもの発達特性を評価し、関わることによって、社会生活における特性との折り合い方をより現実的に検討することができています	「障がい」という言葉にとらわれず、本人の在り方を理解し、大多数で構成される社会に本人を合わせようとするのではなく、本人らしく幸せに生きていけるように支援することを方針としています	左記の考え方を具体的に療育に反映できるよう、毎回の個別プログラムを検討しています。職員は研修受講などの研鑽をおこない、より適切な療育に結び付けていきたいと思えます
2	広い明るい療育室や複数の個室で本人に合ったプログラムを展開できます のびのびと本人らしく遊び、遊びの中の学びを支える環境を提供できています	個別プログラムにおいて、本人にとって必要な環境や遊具などを適切に選び、個々に提供しています 環境を固定するのではなく、ひとりひとりに合わせて構造を変化させています	療育の中での遊具などの有効性についてより理解し、適切な提供をおこなっていきます
3	保護者様とのコミュニケーションを大切にしています 毎回療育の終了後にはお子さんの状況について共有しています ご家庭や学校での悩み事、困りごとについてもその都度面談をおこない、ペアトレや学校との支援会議などの解決策に結び付けています。	保護者との面談をよりていねいにおこなってきたいと思えます	それぞれのスタッフの面談のスキルや共感力をアップさせ、よりよい保護者様支援をおこなっていきます

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ベテランの作業療法士さんに月に一度診ていただき、スタッフも指導を受けていますが、医療系(理学療法士、作業療法士、言語聴覚士)の常勤配置が実現していません	医療系専門職のスタッフの充実を検討していきたいと思えます	医療系専門職のスタッフの充実を検討していきたいと思えます
2	送迎のサービスをおこなっていません	働くお母さんたちにとって、事業所への送迎は大きな負担になることを鑑み、送迎の導入について検討していくべきと考えています	送迎の実現に向けて検討を続けます
3			